

習志野フェニックス優勝

習志野市少年野球新人大会

第28回習志野市少年野球新人大会が3月23日から31日まで、第一カッター球場で開かれた。

大会日程初日は降雨のため開会式だけが行われたが、選手を代表して向山フアイトースの吉垣陽翔主将が「プレーできることに感謝し、がんばります」と元気に宣誓した。

3日間にわたるトーナメント戦の結果、習志野フェニックスが優勝を飾った。フェニックスは6月の全日本学童軟式野球千葉県予選大会に出場する。

フェニックスのこの大会での優勝は、コロナ禍で中止となった第24回大会を挟んで5年ぶり。通算4回目。

大会結果は次の通り。



優勝の習志野フェニックス



準優勝のならしのフレンズ

対戦相手	スコア	投手
大東あづま	6-4	ヤンチャ
ならしの	10-3	谷津サザ
フレンズ	10-3	ナミ
習志野ベイ	8-3	藤崎シー
ドリムス	8-3	クレット
津田沼少年	13-8	実花レジ
年野球団	13-8	エンド

対戦相手	スコア	投手
鷺沼マリ	6-5	向山フア
ならしの	5-4	大久保フ
フレンズ	10-0	ログス
習志野フェ	10-0	習志野ベイ
ニックス	12-8	袖ヶ浦ボ
津田沼少年	12-8	イズ
年野球団	12-8	イズ

準決勝戦の第1試合は、ともに2回戦を逆転サヨナラで勝ち上がったならしのフレンズと鷺沼マリックスが対戦した。先攻のフレンズは2回表に1点先取。鷺沼はその回裏に同点とし、

3回裏には永田の適時打で逆転。4回表、フレンズは2点を加えて逆転するが、その回裏、鷺沼は再び逆転。しかし、フレンズも5回表に同点とする。同点で迎えた最終回、フレンズは松元優の安打、池亀の適時打などで3点。一方、鷺沼は1点を返した後、川野、黒澤育の安打などで同点とし、試合は特別延長戦に突入した。再延長まで行われたが、フレンズが僅差で勝利した。

準決勝戦の第2試合は、再逆転の末、2回戦に勝利した津田沼少年野球団と、シードチームで唯一勝ち上がった習志野フェニックスとの顔合わせとなった。フェニックスは2回、4回にスクイズで2点。津田沼は5回表、四球、盗塁の藤井

が悪送球でかえり1点。一方、フェニックスはその回裏、森田の三塁打、宮崎の安打などで3点追加。最終回、津田沼は松友の本塁打で1点返すが、反撃はこまどとなった。

準決勝戦
ならしのフレンズ
01021332 12
01120331 11
鷺沼マリックス
津田沼少年野球団
000011 2
010113× 5
習志野フェニックス
002 2

決勝戦
習志野フェニックス
732 12
002 2
ならしのフレンズ
▽バッテリー 渡邊、森田、渡邊 笹原(フェニックス) 岩沢、後藤、松元暖(フレンズ)
▽本塁打 上畝、東海林(フェニックス) 岩沢(フレンズ)
▽三塁打 東海林、仲山(フェニックス)

【後記】
決勝戦は習志野フェニックスとならしのフレンズとの対戦となった。1回表、

フェニックスは四球の1番宮崎が2番東海林の右越三塁打でかえり先制。3番仲山の内野安打で東海林もかえる。4番笹原の当たりはよかつたが、フレンズの三塁手・後藤の好送球で一死。5番渡邊の内野ゴロはエラーを呼び、三塁から仲山がかえり3点目。フェニックスは、さらに6番寺田のセーフティーバント、7番森田の死球で満塁とし、8番上畝が左越本塁打を放ちこの一回一挙7点を挙げ

第3位の鷺沼マリックス
第3位の津田沼少年野球団

一、二塁とするが得点に結びつかない。
3回表、フェニックスは東海林の左翼線本塁打、仲山の左越三塁打などで2点を追加。フレンズは3回裏、3番池亀の右前安打、4番岩沢の左中間本塁打で2点を返すが、後続なく、試合はこまどとなった。
習志野フェニックスの
東海林良太キャプテンは「みんなで声をかけあって市内大会優勝」という目標を胸にこの大会に臨みました。決勝戦ではスタメン、ベンチ、応援の全員が一丸となり、優勝することができました。県大会でも一つでも多く勝てるように精一杯がんばります」と話した。

ならしの朝日
2024年5月5日号